



昨年10月に行われた奉納神楽



ひろしま ぐると八区

広島には魅力あふれる地域や元気いっぱいの人たちが数多く存在します。
このコーナーでは、そんな“広島のステキ”を皆さんにお届けしていきます！



灯台のそばにそびえるクスノキの大樹。
宇品山を永く見守っている



南区

「ひろしま生きた自然博物館構想」 探検しよう！ 宇品山

紙屋町から広島港行きの市電で、揺られること約30分。元宇品口の電停から、歩いて5分足らずで宇品山の登口に着きます。こんもりとした山の中は、さながら自然のワンダーランド。その魅力、とくにご紹介いたしましょう。

宇品山の魅力を探る

ガイド役は、「ひろしま生きた自然博物館」企画委員会や地元の実業家、自然観察グループ「しいの実会」の皆さんです。広島市でも珍しいほど自然の恵みにあふれた場所、元宇品地区。その恵みを財産と考え、元宇品地区全体を自然博物館に見立てて大切にしていきたい……そんな思いから、「ひろしま生きた自然博物館」の構想は練られています。今回は宇品山のさらなる魅力を発掘すべく、委員会の中心メンバーが集まって山歩きをすることになりました。リーダー役は、「しいの実会」の脇勲さんと湯出原元さん。宇品近辺に長くお住まいのお二人、元宇品の自然に関しては超エキスパートです。宇品小学校などでガイドボランティア

を務めることも多いとか。

宇品山では、タブノキやヤブニッケイ、シロダモやカゴノキといった照葉樹林が豊富。人の顔ほどもある大きな葉っぱを持つカクレミノは、葉の形が雨具の隠れ蓑に似ているところからこの名が付いたとのこと。海に近いだけに、ツルナやマナデシコといった海岸性の植物も目立ちます。あまりの種類の多さに、思わず驚いてしまうほどです。

自然の恵みを受け取って

電車を降りて『あかつき橋』を渡り、さつそく宇品山の入口へ。うっそうとした自然林の、ひんやりした空気が迎りを包みます。宇品山入口から20分ほど歩いて、少し開けた場所に到着。アラカシやスタジイなど、さまざまな種類のドングリが落ちています。「食べごろ」と湯出原さんが差し出したのは、ちよと酸っぱいけどおいしいナワシログミの実でした。湯出原さんいわく、「目ごろ口にしない野生の味に、訪れた小学生は夢中になる」とのこと。街中で暮らす子どもたちにとつて、かけがえのない生きた経験となつていくようです。

灯台前にそびえる大クスノキは、宇品山のシンボルとして有名です。その根元に立ち、目を閉じれば、海のざわめきと木々のせせらぎを同時に聞くことができます。「元宇品は、海と山が一緒に暮らせる町なん



全体が照葉樹林におおわれた宇品山



案内していただいた皆さん。
左から脇勲さん、中越有希さん、
世木田寛子さん、長谷川明子さん、湯出原元さん

TOPICS

「元宇品自然観察ガイドブック」宇品公民館の呼び掛けにより、元宇品の自然をつぶさに調査したガイドブック。「しいの実会」の精鋭メンバーが、自然観察ボランティアとして執筆した。全3冊のシリーズで、1冊目は「海岸」、2冊目・3冊目は「植物・昆虫・鳥」を扱っている。宇品公民館で閲覧が可能。問合せ ☎082・253・2529（宇品公民館）



ヤブニッケイ



アラカン・スタジイの実



カクレミノ



シロダモ

よ」と、委員の一人である世木田寛子さんは誇らしそうに語ります。海と緑の美しいコラボレーション、これが宇品山の一番の魅力なのかもしれません。

安佐北区

“自然”と“元気”をたっぷりどうぞ！ 久地北・ 太田川げんき村

太田川中流に位置する安佐北区久地北部は、旧JR可部線の「布駅」、「小河内駅」付近から加計町境までの7地区（間野平、野冠、宇賀、瀬谷、鹿野巣、追崎、高山）からなる自然豊かな地域です。

地域が抱える マイナスをプラスに

自然に恵まれた久地北ですが、深刻な悩みもあります。地域住民が手を加えていかないと里山の木々は増え続けるばかりで、山崩れを引き起こす原因にもなります。時には驚異にもなる自然を活用し地域を豊かにするにはどうすればいいか、現在、げんき村ではボランティア団体や企業などと連携を図りながら研究を進めています。間伐材などのバイオマス（生物資源）を有効活用してエネルギーに変える「ゼロエミッション」の取り組み、そして薬草や川魚などの豊富な自然を特産品に変えることを中心に、7つの地区で協力し合い模索中です。少しずつ交流を広げながら、まず地元の人々が「げんき」に……そんな「久地北・太田川げんき村」にあなたも元気をもらいに訪れてみませんか？



7地区合同で、毎年200本の梅の苗木を植え、「梅の里づくり」を目指す



広島にある約150種類のうち100以上の薬草があると言われていた久地北の魅力を生かそうと、定期的に研究会や観察会を開催

自然と共存しているげんき村



「久地北・太田川げんき村」のイベント（予定）
8/21 鮎食おう会
10/9 奉納神楽
11/23 みんなで遊ぼう!!
げんき村

※そのほか、自然観察会、薬草栽培講習会、食品加工講習会などがあります。問合せ ☎090・8991・1742（藤野考博）

自然を愛する住民が協力して地域づくりに動んでいます。



げんき村の藤野考博さん

TOPICS

情報誌「あさきた げんきびと」 「久地北・太田川げんき村」を含む、まちづくりや文化活動に取り組んでいる安佐北区のグループ16団体を

紹介。区内の住民や学生たち約20人が編集制作に携わり、公民館や区役所で無料配布。問合せ ☎082・819・3905（安佐北区役所区政振興課）





ページをめくるとたくさんの書き込みがしてあります

成果が認められ、「二葉の里歴史の散歩道」づくりを推進している二葉の里ブラッシュアップ研究協議会（事務局：東区役所区

しかし、木曜会が郷土史の勉強をやめたわけではありません。今までの歴史の散歩道

その後、中尾さんが亡くなられてからは、平成2年（1990年）5月に「平家物語」の輪読会と形を変えました。現在、5人のメンバーは、滑らかに朗読できるように頑張っています。

昭和56年（1981年）、二葉公民館が開いた家庭教育学級で、二葉中学校PTAの保護者の皆さんが郷土史家の中尾壯一さんから地域の歴史を学びました。この勉強会をきっかけに、集まったメンバーで二葉中学校区に残る史跡を子どもたちに伝えようと、郷土史グループ「木曜会」が誕生しました。皆さんの学習意欲は高く、昭和58年（1983年）には、史跡や伝承をまとめた「二葉みちしるべ」という冊子を発行しました。

昭和56年（1981年）、二葉公民館が開いた家庭教育学級で、二葉中学校PTAの保護者の皆さんが郷土史家の中尾壯一さんから地域の歴史を学びました。この勉強会をきっかけに、集まったメンバーで二葉中学校区に残る史跡を子どもたちに伝えようと、郷土史グループ「木曜会」が誕生しました。皆さんの学習意欲は高く、昭和58年（1983年）には、史跡や伝承をまとめた「二葉みちしるべ」という冊子を発行しました。

史跡を子どもたちに伝えたい 歴史散歩の先駆け 木曜会



毎週金曜日の練習は真剣そのもの



三線を弾く代表の関洋さん（右）。左の宮国泰明さんは沖縄出身



歴史のあるまちとともに「二葉公民館（東区）」

二葉公民館のある二葉中学校区内には、多くの史跡があります。それは二葉山が、広島市中心部から見えて鬼門に位置しているためです。鬼門は「起門」とも書きますが、地域を活性化させようと考えた歴代藩主が二葉山を聖地に定め、多くの神社仏閣を建立しました。そういった歴史的なものと駅前再開発などによる新しいものが混在した地区に位置する二葉公民館は、昨年5月、東区総合福祉センターの中に移転。ステージのあるホールが新しく備わり、球技や音楽関係の利用者も増えました。そんな二葉公民館の活動と活躍しているグループの一部をご紹介します。

人を大切に平和を願う

広島エイサー琉風会

「沖縄の風を広島に吹かせよう」と、平成12年（2000年）11月に「広島エイサー琉風会」は立ち上がりました。自分たちの活動ができる場所を探して、やっと落ち着いたのが二葉公民館。現在では代表の関洋さん、副代表の森根さんを中心に小学1年生から50代までの約40人が汗を流して練習をしています。

エイサーは、沖縄本島と周辺の島で受け継がれている、いわゆる「盆踊り」。先祖供養の意味を込めて、旧盆の3日間だけ男性の太鼓と女性の手踊りで踊ります。先祖を敬うことにより家族や地域、友達を大切に作る気持ちが育まれ、その気持ちが平和を願う思いにつながると、沖縄では考えられています。「被爆地ヒロシマでエイサーを踊ることによって、平和の大切さをアピ

ールできる」と琉風会の皆さんは誇りを持って活動に励んでいます。

本来エイサーとは、16〜25歳までの青年会メンバーによって踊られ、練習を通して年長者に対する礼儀も学んでいくものです。宗教行事、魂祭、教育の場……いろいろな思いが込められています。「楽しい、かっこいい」だけではなく、エイサーが持つ意味を理解して参加してほしいと、故郷の沖縄で踊っていた森根さんは言います。

森根さんの気持ちに賛同したメンバーは、地域貢献としてフラワーフェスティバルや呉みなとまつりなどで観客を楽しませています。また、老人会や障害者施設にも積極的に訪問。安芸郡熊野町の「あゆみ作業所」では毎年踊りを披露し、作業所の人たちが作ったカレールーを一緒に食べるのが楽しみだそうです。

練習時間が残り30分になると楽器を片付け、手話と歌詞の勉強をします。手話は聴覚障害のあるメンバーとのコミュニケーションを向上させるため、歌詞は沖縄の心を学ぶためです。エイ

フラワーフェスティバルでパレード



サーの基本理念を忠実に守り、人を大切に、地域に貢献している「広島エイサー琉風会」。今後も広島に平和の熱い風を吹かせてくれることでしょう。



練習の合間に水分補給。メンバーの交流の場です



今回は平家物語の「宇治川先陣」を読みました。勉強会はなぜが、戦争の話で白熱

子ども中心に地域の交流を 二葉公民館の主催事業

eキッズチャレンジジャー

昨年「eキッズチャレンジジャー」を開催しています。学校週5日制への対応と、子ども会の加入率低下に歯止めをかけるため、小学3〜6年生の子どもたちに1年を通して、工作、料理、施設探検などのさまざまな体験をしてもらっています。eキッズを指導するのは、EAC (East Athletic Club) のお兄さん、お姉さんたち。メンバーは子ども会を卒業後もキャンプやスポーツ大会などの活動を活発に行っていて、会の子どもたちやeキッズの良いお手本になっています。今年も、6月からスタート。絵手紙、さまざまな工作、防災センター見学など、たくさん楽しい活動を盛り込んでいます。「違う学校の友達ができてよかった」と子どもたちに言ってもらえるように、EACのメンバーも頑張っています。



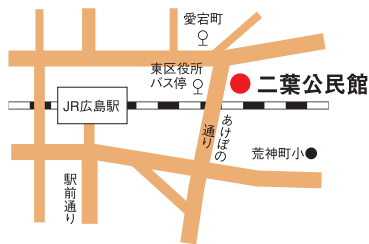
思いの気持ちを絵手紙に託して

二葉中学校区 家庭教育学級

尾長 荒神町、中山、矢賀の4つの小学校と二葉中学校のPTAが、学校を越えて同じ悩みや情報を分かち合おうと、家庭教育学級を開いています。研修を担当する各校のPTAの人たちが、公民館の職員顔負けの企画力で運営。今年も大学教授や医者などを講師に招き、親子関係や自分らしさなどをテーマに学んでいます。今年度は、子育てに関する意見交換を取り入れた家庭教育フォーラムに発展させたいと模索中。子どもを核として親や学校、地域の人々がつながりを持てるような環境づくりを目指しています。



学校の垣根を越えて情報交換



二葉公民館

広島市東区東蟹屋町9-34
東区総合福祉センター内5〜6階
TEL (082)262-4430
FAX (082) 262-4451



児童養護施設を訪問する「オタフクソース」のお好み焼キャラバンカー



ネパールで眼科検診に協力する、「メガネの田中チェーン」の社員



世界のめぐまれない子どもたちへ放置自転車を整備して贈る「フォード・ジャパン・リミテッド」の社員

ひろしまの会社のおもしろPレポート

レポートの“P”は、Philanthropy（フィランソロピー・企業などが地域活動に参加すること）、Peace（ピース・広島のアイデンティティーとしての平和）、Public（パブリック・公共に開かれている）などの“P”をイメージしています。

広島企業の社会貢献事例集を発行！ ひろしま元気づくりカンパニー

企業貢献が根付く街・ひろしま

広島は、企業の社会貢献が根付いた土地であると言われています。その歴史は古く、85年以上も前から人々の心を癒すため無料の仏教講演会を続けている熊平製作所(南区)、被爆後の廃墟の中、公会堂やバスセンター、市民球場の建設など、広島市の復興に多大な貢献を果たした三葉会、などに代表されます。その精神は、会社の規模にかかわらず受け継がれ、今に息づいていると言えます。

このたび、まちづくり市民交流プラザでは、広島企業の社会貢献活動事例集第2弾「ひろしま元気づくりカンパニー」(A4版、56ページ)を発行しました。

今回は39社(38社1財団)の49事例を掲載しています。その内容は、大企業ばかりでなく中堅・小規模企業の取り組みをできるだけ発掘したり、支社・支店・工場を置く会社の場合も広島での取り組みを中心に紹介するようにしました。また、各社の取り組みが長く続くことを願い、原則3年以上

持ち味を生かした社会貢献

ひとくちに社会貢献といっても、その取り組みは企業によってさまざまです。それぞれの企業が持つヒト・モノ・カネ・情報・技術などの資源をうまく生かした内容が多く見受けられます。

紹介事例を大まかに分けると、①寄付活動(10例)、②会社主体の社会貢献活動(自主プログラム)(30例)、③社員の社会参加支援(8例)、④NPO等との協働・連携、協力(13例。重複あり)などがあります。中でも最近の特徴的な取り組みとしては、本業を生かした活動や、NPO等を支援したり連携したりする活動などがあります。

例えば、オタフクソース(西区)のお好み焼慰問、メガネの田中チェーン(中区)のネパールでの眼科検診、かつらメーカー・クスノキ(安芸区)のがん患者へのかつら寄贈などのように、会社の持つ専門性を生かすことで無理のない社会貢献の展開が図られています。また、特殊車両架装の第二ボデー(佐伯区)がNPOの運営するサロンに建物提供したり、スーパールのフジ(中区)が市民団体とともにこどもエコクラブを実施するなど、企業・NPOそれぞれの持ち味を生かした取り組みなどがあります。

この事例集には発行以来、新たに

継続して実施されている活動を取り上げています。

1冊目の事例集「広島のとんでる会社、おもしろ会社」(平成12年発行)は、34社49事例を収録していますが、この4年間に、新たに取り組み始めた企業など15社36事例を新規収録するなど、社会貢献活動の広がりがうかがえます。その背景の一つには、企業の間に「企業市民」の考え方から一歩進んだ「社会的責任」(CSR/Corporate Social Responsibility)「社会的責任投資」(SRI: Social Responsibility of Investment)が意識されるようになってきたことが考えられます。

社会貢献活動に取り組もうとする会社や、企業とのよりよいパートナーシップを図ろうとする市民活動団体、大学、行政関係者など、多方面から反響をいただいています。これらの事例を参考にして、さらに社会貢献活動に力を入れる企業が増えることで、市民・企業・行政の三者協働のまちづくりが前進するものと確信しています。



「フジ」の店舗で買い物意識調査をするエコクラブの子どもたち



Information

「ひろしま元気づくりカンパニー」は、まちづくり市民交流プラザや公民館などで閲覧いただけます。また、同プラザのホームページからご覧いただくことができます。URLは<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>です。まちづくり市民交流プラザでは、会社や組合による社会貢献活動、社員のボランティア活動などに関するご相談をお受けしています。お問い合わせ:082-545-3911(同プラザ)

活動内容や運営方法といった実質的な面から、苦心した点など活動の裏側まで、広島県の社会貢献を「一挙」にレポート



搜してみよう！ 自分色の「生涯学習」 21世紀の生涯学習入門

監修:文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課 2001年10月発行



生涯学習と聞けば何だか難しそうな印象を受けるかもしれませんが、本書は、自分の興味あることを楽しく続けることがすでに生涯学習なのだというメッセージをくれます。冒頭に漫画家の赤塚不二夫さんと文部科学省大臣官房審査官とのユニークな対談から、読者を優しく生涯学習の世界へと導きます。生活の中で何が生涯学習につながっていくのか、21世紀型の生涯学習の具体例を読みながら、自分に合った生涯学習の形を段階的に搜していける入門書です。かわいいイラストやコラムなど遊び心がたくさん盛り込まれているので読みやすい上、実例が多く関連施設などがジャンル別に整理されていて便利です。すでに生涯学習を始めている人にとっても参考になる心強い一冊です。

毎号、いろいろなメニューが楽しめる
 「らしっくCafé」。
 コーヒーの代わりに生涯学習や
 市民活動に役立つ本やHPなど、
 いろんな情報をご用意して、
 みなさまのご来店をお待ちしています。
 さて、今回のご注文の品は…？

本からスタートする社会変革への基礎固め 世の中を変えて生きる

著者:バージニア・クーバーほか 嵯峨野書院／2000年9月発行



より良い生き方を求めて何かをしていきたいと、手法を模索中の人にぜひ手にとってほしい一冊です。「世界中のどんな理論もトレーニングも、それが日々の生活の中で具体的な行動に結びつかなければ、実際には役に立たない」という理論をもとに、読者が実践への第一歩を踏み出すまでの指南書になっています。理論、組織づくり、組織の維持管理、自己管理の方法、カウンセリング、さらには簡単な会計帳簿のつけ方など、知っていると便利な情報も紹介されているので、あらゆる場面で役立つ一冊です。本書の完成まで5年以上もかかった分、内容はボリューム満点です。

※ここで紹介している本は、まちづくり市民交流プラザ3階図書閲覧コーナーでご覧になれます。

思いをカタチに変える先達の知恵 ひとりから始まる。I・II

編者:三橋規宏 海象社／I 2003年12月 II 2004年1月発行

森林保護や温暖化問題などの地球環境問題に取り組む人、地雷の除去に取り組む人、地域の良さを掘り起こしまちづくりに取り組む人など、地球規模でありながら身近な一歩であるさまざまな取り組みをしている人たちの活動内容や思いを語っているシリーズです。本書に登場する一人ひとは、消費社会で当たり前になっている価値観に疑問を投げ掛け、個の価値観を大切に追求し、素直に行動していくことで、力まない「仕事」への姿を示してくれています。組織や社会を変えたいと思った時、まず自分一人だけでも一歩前へ踏み出さなといけな……頭では分かっているけれど体がなかなか実行に移せないというジレンマを抱えている時に、その一歩を踏み出すきっかけを与えてくれることでしょう。



今回のオーダー
 社会を変える
 小さな一歩

「地域通貨」で人とつながる温かいコミュニティに ボクらの街のボクらのお金

著者:あべ よしひろ さんが出版／2002年2月発行

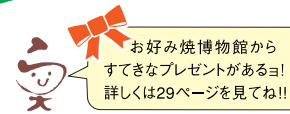
コミュニティ内で信頼に基づいて発行される「地域通貨」について、絵本形式で語ってくれる温かいお話です。大人も子どもも読みやすい寓話のようでありながら、現在使っている通貨の意味や流れ、交流のあるコミュニティの作り方などが学んでいける仕組みになっています。世界各国で実際に流通している地域通貨の事例が詳しく紹介されているので、それを参考にしながら、自分たちのコミュニティに一番合った地域通貨の形を搜していけそうです。おまけとして物語の中で使われたかわいい地域通貨が付いているので、まずは、「肩たたき券」などで親子や友達同士で遊びながら、おもしろい通貨を交換し合ってみてはいかがでしょうか？ そんな楽しい第一歩からコミュニケーションが生まれ、住み心地の良い地域が生まれていくのかもしれません。



広島のが会社が市民の
 “エンジョイ”を応援してくれる、
 おもしろスポットをピックアップ！
 今回は広島をますます身近に感じられる
 ユニークな博物館やギャラリーの特集です。

ひろしまの会社のおもしろ Pスポット

こだわりの
 ミュージアムPART2



放送の裏側を楽しく体験
NHK広島放送局 メディアパーク
 NHK広島放送局メディアパーク（1～4階の見学コース）では、「お好みワイドひろしま」の公開生放送やりハール風景の見学、合成映像の体験など、楽しく放送の裏側を知ることができます。約4千本のNHKのテレビ・ラジオ番組が自由に視聴できる「番組公開ライブラリー」や、広島放送局が制作した核・平和関連の番組がビデオで見られる「NHKひろしまライブラリー」では、見たかったあの番組に出合えるかもしれません。また、週替わりで作品を展示している2階のギャラリーは、一般の利用も可能。大人から子どもまで楽しめる場所です。

NHK広島放送局 メディアパーク
 広島市中区大手町2-11-10 TEL082-504-5111
 開館時間／午前10時～午後6時
 （土・日・祝は午後5時半まで）
 休館日／12月29日～1月3日
 入館料／無料 ※団体見学（10人～50人）も受け付けています（要予約）
 所要時間／約1時間
 URL <http://www.nhk.or.jp/hiroshima/>



広島を代表する食文化継承のために お好み焼博物館

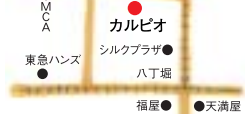
「お好み共和国ひろしま村」の5階にあるお好み焼博物館では、お好み焼の歴史や魅力を知ることができます。お好み焼のルーツや地域による違い、ホットプレートで生地を上手に焼くコツなどをパネルで分かりやすく説明。ソースに使われている香辛料は試食ができるようになっています。また、お好み焼の神様「想葉仁玖多摩命」を奉った「好福神社」は、そのユニークさで人気があります。話の種に参拝してみてもいかがでしょうか。戦後、市民の空腹を満たし、広島を代表する食文化の一つになったお好み焼について、新しい発見が得られるかもしれません。

お好み焼博物館
 広島市中区新天地5-23
 お好み共和国ひろしま村5階
 TEL082-246-2185
 開館時間／午前10時～午後5時
 休館日／月
 入館料／100円
 （年内は特別料金キャンペーン中、通常は300円）
 URL <http://www.hiroshimamura.net>



カープの歴史や選手の横顔にくぎ付け カルピオ

カープグッズや観戦チケットの販売をしているカルピオには、カープのベースボールギャラリーがあります。入り口で迎えてくれるのは現役時代の山本浩二・衣笠祥雄両選手の感動的な写真。そのほか数えきれないほどのスナップ写真が壁一面に張り付けてあり、現役選手や引退した選手の横顔をうかがわせてくれます。日本に輝いた時のチャンピオンフラッグやトロフィー、永久欠番になった背番号「3」と「8」のユニホームとロッカー、かつての市民球場のスコアボード、歴代のユニホームなど、それぞれの時代の懐かしいものが展示されています。広島が誇るカープの変遷を、改めて振り返ってみるのもいいですね。



**カープベースボール
 ギャラリー（カルピオ）**
 広島市中区八丁堀6-7チユリス八丁堀
 TEL082-227-2222
 開館時間／午前10時～午後4時
 休館日／日・祝 入館料／無料



ストリートから文化を エビデンギャラリー

平和大通りに面するエビス電ビル1階には、スペースを生かしたガラス張りのギャラリーがあります。ここでは空間を利用して芸術作品を展示しています。学生から世界で活躍しているアーティストまで、幅広い層が作品展を開いてきました。いつでも通リから気軽に見られるので、時間や天候によって変化する作品の表情も鑑賞できます。また、夜間はライトアップされるため、幻想的で全く違った雰囲気味わえます。8月30日まで、広島市立大学大学院 博士後期課程の江田ゆかりさんの作品展を開催中です。



8月30日まで展示中の「江田ゆかり作品展」

エビデンギャラリー
 広島市中区中町8-8 エビデンビル1階
 TEL082-285-3210
 （事務局担当:瀬戸）

